

## 活動報告

- 平成25年1月11日 平成24年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会の開催

「海」、「文化・観光・歴史」、「医療」に関する研究者から次の講演をいただいた。

「沖縄の島々の課題と可能性」

- ・大城肇氏 琉球大学理事・副学長（企画・経営戦略担当）

「内湾・内海健康診断と栄養管理」

- ・中田英昭氏 長崎大学水産・環境科学総合科学研究科長

「気仙沼地域における遠隔医療の試み」

- ・清元秀泰氏 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門地域支援  
気仙沼センター長 統合遠隔腎臓学教授

- 平成25年11月27日 平成25年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会の開催

「海」、「文化・観光・歴史」、「医療」に関する研究者から次の講演をいただいた。

「アサリ生産の現状・問題点と資源回復への取り組み」

- ・日向野純也氏 独立行政法人水産総合研究センター 増養殖研究所 養殖システム部  
環境管理グループ長

「播磨灘における1990年代後半からの漁獲量の減少について

——何があったのか？——」

- ・反田實氏 兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター参事

「瀬戸内圏の特異性と島の魅力」

- ・長嶋俊介氏 鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター教授

「クラウド時代のヘルスケアモニタリング」

- ・板生清氏 特定非営利活動法人 ウェアラブル環境情報ネット推進機構 理事長

- 平成26年3月6日 平成25年度香川大学瀬戸内圏研究シンポジウムの開催

平成24～25年にわたる瀬戸内圏研究成果について、広く一般の方へ紹介した。これらの成果内容については 3. プロジェクト研究報告とシンポジウム発表報告 において詳述する。

- 瀬戸内圏研究センターの主要な役割に関する報告

行政、企業等との協議会および活動団体や地域住民からの意見を収集して新たな検討課題を発掘、それらを反映させるための施策の検討、セミナーやシンポジウム等の開催、研究成果の公開、行政、企業等との受託研究や共同研究の推進、瀬戸内圏研究に関する情報

の収集とデータベース化を実施した。

(1) 「瀬戸内圏研究プロジェクト」研究推進支援

平成20年に学長戦略調整費により開始された「瀬戸内圏研究プロジェクト研究」（海グループ：干潟を含めた浅海域の生態系研究、文化・観光・歴史グループ：瀬戸内圏の地域文化の発見と観光資源の創造、医療グループ：瀬戸内圏における地域連携パスと生涯健康カルテ(EHR)ネットワーク構想)は、平成24、25年度においても各グループで下記代表者による研究を推進した。

研究グループ研究代表者

- ・海グループ 農学部多田邦尚
- ・文化・観光・歴史グループ 経済学部稲田道彦
- ・医療グループ 特任教授原量宏
- ・瀬戸内圏研究プロジェクト推進支援 特任教授本城凡夫

(2) セミナーやシンポジウム等の開催、研究成果の公開

2.活動報告で記すシンポジウム、学術講演会等を開催し、意見交換を通して、行政・研究機関、企業、活動団体や地域住民等からの情報を幅広く収集し、シンポジウム、書籍（「四国遍路道指南(しこくへんろみちしるべ)ー読み下し文と解説ー」）、および年度報告書を作成して、社会に成果を還元した。

(3) 行政や企業等との地域連携による受託研究や共同研究等の実施

環境省及び瀬戸内海環境保全知事・市長会議が主催する「瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念事業」（平成25年度実施）実施に伴う、高松市からの「瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年記念事業における賑わい創出業務」事業により、香川大学瀬戸内圏研究センターの情報発信ブースを出展した。

(4) 瀬戸内圏研究に関するデータベースの作成、様々な情報の集積、分析および発信

ホームページからのダウンロードにより、データベースから起草された総説が閲覧できるようになり、充実に向けて鋭意作業中である。